

# アンドレアス・ピンクヴァルト大臣の EU・日本間経済連携協定(JEEPA) に関する記者会見での声明(~3分)

2018年5月4日(金)、11:30~12:30

デュッセルドルフ、マルクトプラッツ 2、デュッセルドルフ市役所 1階、  
大会議場

報道機関の皆様、同僚、パートナーの皆様

EUと日本間の経済連携協定は、EUがこれまで交渉した中で最も意味の大きい相互貿易協力関係となります。2019年を目指して作業中のこの協定が発効すると、世界全体のGDPの約3分の1を占める世界最大の自由貿易圏が誕生します。

ノルトライン・ヴェストファーレン州政府はその発展を大いに歓迎いたします。多国間主義が多く、側面から疑問を呈され、保護主義が意味を持つようとするこの時代において、EUと日本間の交渉の締結は重要な光明なのです。この経済連携協定は企業の関税負担を低下させ、統一基準を設け、二重の検査と二重の官僚主義を排除するものです。私たちは州政府として、ノルトライン・ヴェストファーレン州においてもスリムで簡素な官僚機構を実現するよう努めます。私たちが進める自由化パッケージにより、経済と社会に必要な自由空間を保証してイノベーションを促進し、州の経済力を生かせるようにします。

私は、ヨーロッパと日本が経済的関心を超えて結びついていることを強調することが重要であると考えます。このことはここノルトライン・ヴェストファーレン州においてもっとも顕著なのです。日本人がすでに50年以上私たちの社会を豊かにしています。日本とEUは共に、民主主義、法治国家、持続性を象徴しています。したがって、日本との経済連携協定がパリ協定について明白に宣言した最初の協定であることも格別驚くことではありません。

ノルトライン・ヴェストファーレン州と日本の関係をさらに深めるため、私は今年10月に日本を訪問します。経済、科学、政治の専門家たちが、日本の最新の発展とトレンドについて情報を得、関係を結び、ビジネスを開拓するために招待されています。この経済連携協定は素晴らしい枠組みとなる状況を創成します。これを両パートナーの意味において活用することが重要なのです。